

特集

# 箱根駅伝予選会



夢の箱根路へ！ 昨年10月18日（土）、本戦出場権をかけて走った42チームの選手たち。戦いの舞台となった東京・立川で、育友会員も声からして声援を送った。



**マイナ  
ダンカンガツクミ**  
商2・専大熊本玉名高  
37位：1時間2分54秒



**新井友裕**  
文4・浦和実業学園高  
50位：1時間3分12秒



**上山詩樹**  
経済3・敦賀気比高  
63位：1時間3分19秒



**丹柊太郎**  
人科3・松山商業高  
83位：1時間3分35秒



**平松龍青**  
経済3・中部大第一高  
109位：1時間3分56秒



**佐藤陸**  
文3・東京高  
134位：1時間4分11秒



## 夢への疾走を

国営昭和記念公園内に設けられた応援ポイントには多くの育友会員が集まり、選手にエールを送り続けた。



# 限界に挑んだ21.0975km 専大13位で本戦出場ならず

第102回東京箱根間往復大学駅伝競走の予選会が、昨年10月18日(土)に立川市で開催された。本戦出場をかけた戦いは、陸上自衛隊立川駐屯地をスタートし、市街地を経て、国営昭和記念公園のゴールを目指すハーフマラソン(21.0975km)のコースで争われた。

各校最大12名の選手が出場し、上位10名の合計タイムで競う。1月2・3日の本戦に出場できるのは、前大会で10位までに入ったシード校と予選会を勝ち抜いた上位10校。

暑さ対策のため、前年より1時間5分早い8時30分のスタート。陸上自衛隊立川駐屯地の滑走路に42チームの500名近い選手がずらりと並び、静かな緊張感の中で、その時を待つ。

号砲一発、選手たちは一斉にスタート。地鳴りのような足音を響かせながら、滑走路の周回コースを駆け抜け、市街地のコースへ。

観戦者が埋め尽くす沿道からは、途切れることのない大声援が飛び交い、選手たちの背中を押した。

10キロ地点で専大の参考順位は12位。予選通過

のボーダーラインを巡る、息詰まる接戦となった。専大が設けた4カ所の応援ポイントには学生、卒業生、教職員、そして育友会員が集結。選手一人一人に向けて、願いを込めた熱い声援が送られた。

そして、21.0975km。あらん限りの力で走り切った選手たちがゴールに飛び込む。専大はマイナ ダンカンガツクミ選手(商2)が個人総合37位、1時間2分54秒でチーム先頭でフィニッシュ。続く新井友裕選手(文4)が個人総合50位、1時間3分12秒(自己新)、上山詩樹選手(経済3)が個人総合63位、1時間3分19秒と続々とゴールした。

全選手のゴール後、集計結果を待つ会場には各校の選手とサポーターが詰めかけ、一帯は高揚した空気に包まれた。1位から順に読み上げられる大学名。歓喜の声が次々と上がるなか、専修大学の名前は10位までには聞かれなかった。

総合タイム10時間39分06秒で13位。10位の立教大学との差は2分10秒という悔しい結果となった。



具志堅一斗

経営3・コザ高  
140位：1時間4分13秒



田口秋太

文2・東京高  
148位：1時間4分18秒



日比野陸

経営3・大垣日大高  
194位：1時間4分43秒



中西慶士郎

経営2・比叡山高  
197位：1時間4分45秒



和田晴之

経営3・三浦学苑高  
228位：1時間5分8秒



藁科健斗

経営4・横浜高  
296位：1時間6分8秒

## 後押し！ 専大を一つにしたエール



# 来年こそ。響き渡った全学応援団の声



結果発表の後、専大関係者が集まる輪に、陸上競技部の選手たちが合流。戦いを終えた彼らを迎えたのは、落胆の声ではなく、健闘を称える大きな拍手だった。関係者を前に、藁科健斗主将（経営4）、そして長谷川淳監督（H19 経済卒）は、来年への希望を込めた弁を述べた。そして、その場を引き継いだのは全学応援団。陸上競技部の部員に、この日の力走と一年間積み重ねてきた努力を称え、熱いエールを送った。この悔しさを糧に来年こそ箱根へ、新たな戦いが始まった瞬間でもあった。



私たちの走りはできましたが、他大学とタイム差がありました。出走メンバーの10人は3年生以下。来年はより強くなってくれと思います。応援をよろしくお願いします。

藁科健斗主将

選手は厳しい夏を乗り越え、前年以上の練習をし、今日を迎えてくれました。私の力不足で招いた結果を重く受け止めています。来年に向け、今回出ていないメンバーも含め、覚悟を持ってやってくれと思う。一つ一つ見直し、また頑張っていきたいです。

長谷川淳監督





近隣から集まった育友会員で  
幟を立てて応援しました。声は  
選手に届いたと思います。目い  
っぱい頑張った結果の13位で  
す。選手の頑張りに感動しました。  
佐藤信子育友会長



# 各支部の 応援メッセージ

育友会各支部からのエールを  
つなぎ合わせて幟にし、  
選手たちに思いを届けました。

<p>専大 Do Your Best 旭川支部</p>	<p>専修大学 帯広支部 応援して!</p>	<p>新潟! 創務支部!</p>	<p>専修大学育友会 網走支部</p>	<p>青森支部</p>
<p>福島県 浜通り支部</p>	<p>福島県 浜通り支部</p>	<p>福島(会津支部)</p>	<p>茨城水戸支部</p>	<p>茨城県南</p>
<p>専修大学 陸上競技部</p>	<p>埼玉支部</p>	<p>埼玉支部</p>	<p>千葉東支部</p>	<p>千葉西支部</p>
<p>鳳魂</p>	<p>東京A支部</p>	<p>東京B支部</p>	<p>TOKYO-C</p>	
<p>東京多摩支部</p>	<p>神奈川 西支部</p>	<p>専修大学 神奈川 西支部</p>		

